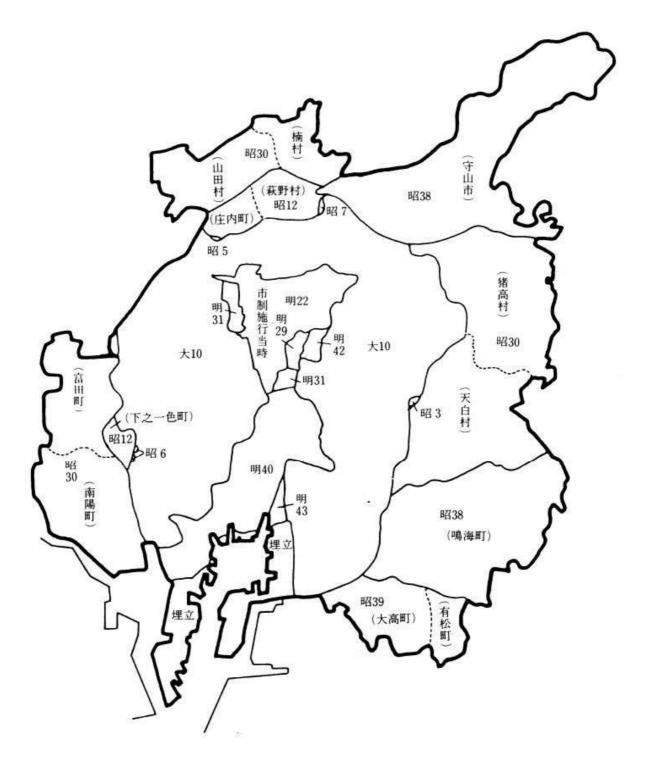
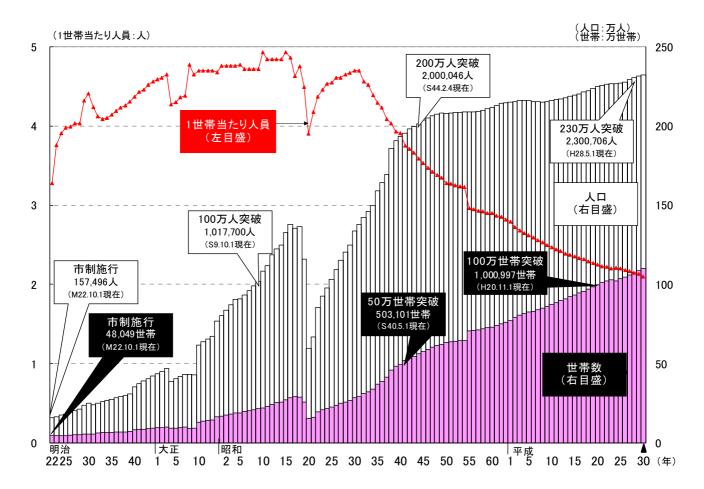
# グラフで見る名古屋

## 1. 市域の変遷(明治22年10月1日~)



※ 詳細は統計表 1-1 市域の変遷 (9ページ) を参照

### 2. 世帯数と人口の推移(明治22年~平成30年)



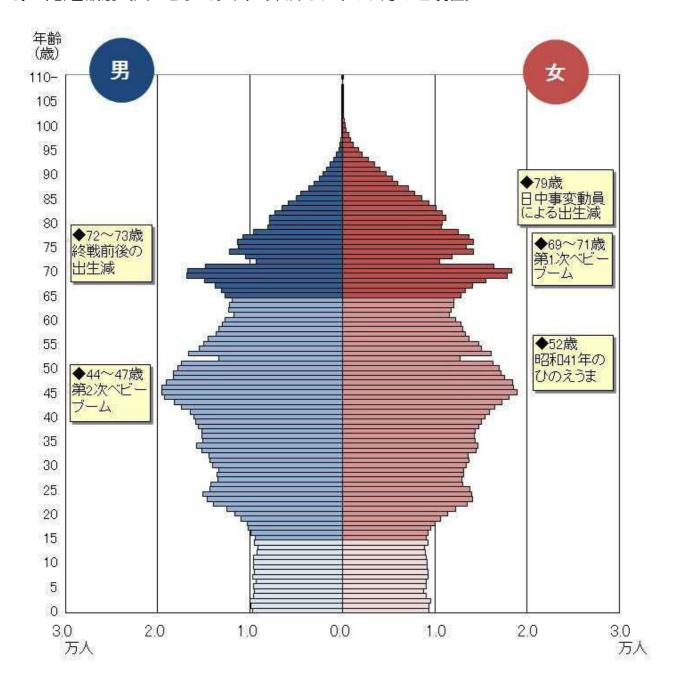
- 注 1) 明治 23 年~大正 8 年及び昭和 16 年~19 年は 12 月 31 日現在、昭和 20 年は 11 月 1 日現在、昭和 21 年は 1 月 1 日現在、その他の年は各年 10 月 1 日現在の値である。
  - 2) 世帯数は、大正8年までは戸籍上の現住戸数、大正9年からは国勢調査の定義による世帯数(準世帯を含む)。

なお、昭和55年国勢調査から世帯の定義が変更され、会社などの寮の単身の入寮者の世帯は1棟 1世帯から1人1世帯となった。

3) 平成24年10月1日現在の人口及び世帯数については、外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部改正に伴う外国人人口及び日本人と外国人の混合世帯の取扱変更による数値変動分を含んでおり、平成23年までの数値と単純に比較できない。

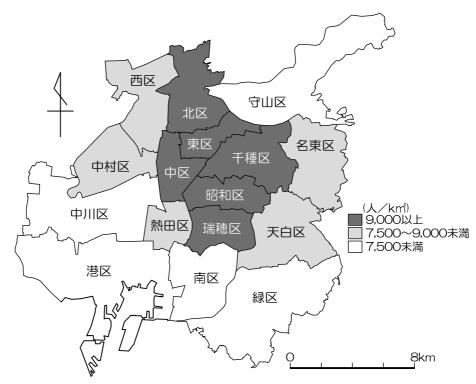
※ 詳細は統計表 2-1 人口の推移(14ページ)を参照

### 3. 年齢各歳別(人口ピラミッド)(平成30年10月1日現在)



※ 詳細は統計表 2-7 年齢各歳別人口(26ページ)を参照

### 4. 各区の人口、面積及び人口密度(平成30年10月1日現在)

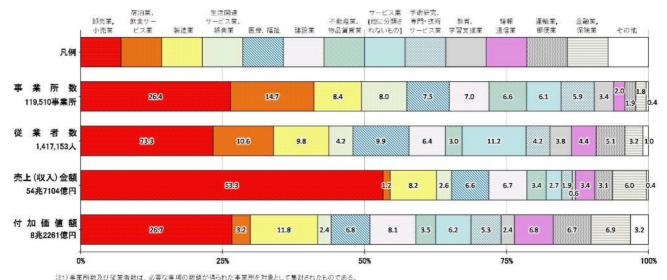


| X  | 人口      | 面積     | 人口密度      |
|----|---------|--------|-----------|
|    | (人)     | (k m²) | (人/ k m²) |
| 千種 | 166,070 | 18.18  | 9,135     |
| 東  | 80,568  | 7.71   | 10,450    |
| 北  | 163,712 | 17.53  | 9,339     |
| 西  | 149,830 | 17.93  | 8,356     |
| 中村 | 135,075 | 16.30  | 8,287     |
| Ф  | 88,856  | 9.38   | 9,473     |
| 昭和 | 109,596 | 10.94  | 10,018    |
| 瑞穂 | 107,197 | 11.22  | 9,554     |
| 熱田 | 66,162  | 8.20   | 8,069     |
| 中川 | 220,660 | 32.02  | 6,891     |
| 港  | 144,198 | 45.64  | 3,159     |
| 南  | 136,451 | 18.46  | 7,392     |
| 守山 | 175,471 | 34.01  | 5,159     |
| 緑  | 246,273 | 37.91  | 6,496     |
| 名東 | 165,589 | 19.45  | 8,514     |
| 天白 | 164,653 | 21.58  | 7,630     |

※ 詳細は統計表 2-2 区別人口(16ページ)を参照

### 5. 産業大分類別事業所数、従業者数、売上(収入)金額及び付加価値額の構成比

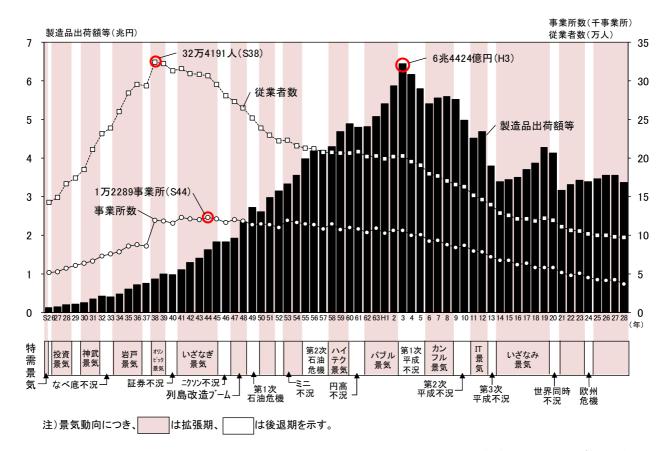
(平成28年6月1日現在、売上(収入)金額及び付加価値額は平成27年1年間の値)



81)争乗内がACV 地本名がA、必要な争場の外地からつけるがある表演といるとして新させたいのである。 2)充土(収入金額は、事業所単位の記録ができない・間が更業については美計されていない(単注数を)が)ため、本図には総称省統計局による試算値を使用している。 3)付加価値額は、必要な事項の数値が得られた企業を対象として企業単位で把握した付加価値額を、事業従事者数により傘下事業所にあん分することにより集計されたものである。

※ 詳細は統計表 4-1 産業大分類別民営事業所数、男女別従業者数、 売上(収入)金額及び付加価値額(69ページ)を参照

### 6. 製造業(4人以上)の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



※ 詳細は統計表 6-1 工業の累年比較(114ページ)を参照

### 7. 学区名称一覧(平成30年4月1日現在)

